

娯楽や趣味

患者さん宅に行くと

つこともあるとのことで の持ち方、動かし方、左手 ロディーを奏でられるよ その人らしさをもっと理

の弦の押さえ方などに苦 うになりました。

解し、より良好なコミュ

す。

印象としては囲碁や俳 松原 清二医師 在名原 月 ― 医師 在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長 総合内科専門医・循環器内科医・日本循環器学会専門医・日本内科学会認定医・認知症専門医・認知症サポート医

また国立長寿健康セン みようと思い、チェロを いていたら、「愛が強すぎ 比較的保たれています。 ている方は、認知機能が とは好きだったのです なしに、ベートーヴェン は認知機能の改善に役立 ドゲームや芸術、音楽に ターの報告によればボー 、園芸など趣味にされ へ音記号の読解、次は弓 を受け、やっと優しいメ 娯楽や趣味など知れば、 やり始めました。 が、自分で楽器をやって の愛の歌を思いっきり弾 クラシック音楽を聴くこ れた曲の抑揚などお構い 初めの頃は低音領域の 生方の我慢強い手ほどき る!」と言われる始末、先 さんの診察時にその人の は大切だなと思い、患者 めて、壮年期や老年期に 通して、趣味や娯楽は改 ができました。 日頃の診療や実体験を

ている光景をたまに見受 半で、「そっか、それなら ば認知症発症予防に生涯 腱鞘炎になり1カ月ほど けなければ」と思い、元々を身につけるには大変だありました。私にとって の趣味になるものを見つ 弾けなくなる始末、趣味 き終わった後は充足感が 私自身、年齢が50代前 格から、練習のしすぎで 9人のチェロのアンサン 労をし、元の凝り性の性 ブルの発表会があり、弾 そのようにして先日。 ではないかと思いまし ニケーションが取れるの た。

けます。友人に囲まれて、

とても楽しそうです。

の上で麻雀牌をかき回し ジャラジャラと緑の雀卓

られ、初めの頃は与えら 人の温かみを感じること の発表会の話を持ちかけ なと思ったりもしまし は先の麻雀のようなもの 先生から、アンサンブル そんなある日、音楽の い仲間に出会え、新たな る、また心を癒やし、新し 機能のトレーニングにな 、頭や手先を使い、認知

[まつばらホームクリニック]

☎ 042-439-1250

matsubarahomeclinic@gmail.com 西東京市東町 4-14-18-2F 電話対応:午前9:00~午後6:00 定休日:土日(祝日は診療) 動間地域:西東京市、東久留米 新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック